取扱説明書

DAYTONA corp.

R ①/⑥

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

	適応車種	商品NO.
D-GRADE オートバイ専用バッテリー（制御弁式）	汎用	73321～73328 73330 73332～73334 73336～73339

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については取扱説明書最終ページの保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書を保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠危険	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される場合を示してあります。
⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示してあります。傷害に至る可能性または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 硫酸注意	表記の注意を告げるものです。	 こども禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
 火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。	 破裂注意	表記の注意を告げるものです。
 メガネ着用	表記の行為を義務付けるものです。	 水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。

●お客様へ
「毒物及び劇物取締法」に基づき保健衛生上、また安全上から原則として液入り状態のバッテリーにして販売しています。

●販売店様へ
電解液は「毒物及び劇物取締法」に従って取り扱う関係上、液別状態でのご販売は行政機関への販売業登録の届け出と手続きが必要です。販売業登録をされていない場合は電解液を注液し、液入り状態にしてご販売ください。（通信販売なども含む）

2010/6/16

⚠危険

禁止

・ エンジン始動・点灯などの車両装着用途以外に使用しないでください。
・ プラス端子とマイナス端子をショートさせないでください。

実施

・ 万が一電解液が目に入った場合は、多量の水で洗眼し、速やかに眼科医の診察を受けてください。
・ 万が一電解液が口に入ったあるいは飲み込んだ場合は、多量の水でうがいを繰り返し、多量の飲料水を飲み、速やかに医師の診察を受けてください。
・ 充電器は正しく使用してください。
・ 端子や取り付け金具は確実に固定してください。
・ 使用済みバッテリーには電気エネルギーが残っています。ご不要になった使用済みバッテリーを放置したり、一般のゴミと一緒に捨てたりしないでください。バッテリーをご購入された販売店に引き取りをご依頼いただくか、各地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

硫酸注意

・ 電解液（希硫酸）の取り扱いに注意してください。

メガネ着用

・ 取り扱い時は保護メガネ、ゴム手袋を着用してください。

火気厳禁

・ バッテリーからは水素ガスが発生しております。火気を近づけないでください。

こども禁止

・ こどもや取り扱い方法、危険を十分理解していないものにふれさせないでください。

⚠警告

禁止

- 端子への取り付けはプラスとマイナスを逆にしないでください。
- バッテリー端子を改造しないでください。
- バッテリーを充電する際は、車両に取り付けたまま充電しないでください。
- 電気機器の直接接続はしないでください。
- バッテリーを落としたり倒したりしないでください。
- 異臭、液漏れ、変形がある場合は使用しないでください。

実施

- 万が一電解液が皮膚・衣類に付着した場合は、多量の水で洗い流し、石鹸で十分に洗ってください。衣類に穴があく恐れがあります。
- バッテリーの点検や清掃の前には車体の金属部分に触れるなどして身体の静電気を逃がしてください。帯電した身体でバッテリーを取り扱うと、スパークにより引火爆発の原因となります。
- バッテリーを充電する際は、充電器の取り扱い方法に従ってください
- バッテリーの交換は正しい順序で行ってください。

水ぬれ禁止

- バッテリーを水や海水のかかる環境で使用しないでください。

破裂注意

- バッテリーを使用する前には、必ずバッテリー上面もしくは側面上部にある排気孔のゴミやほこりを取り除いてください。排気孔にゴミやほこりが詰まった状態のまま注液、充電、車両への取り付けを行うと、電槽が破裂する恐れがあります。

⚠注意

禁止

- 密封栓を取り外さないでください。バッテリーの性能低下や、寿命を著しく低下させる原因となります。
- 使用温度範囲（－10℃～60℃）以外では使用しないでください。凍結や加熱により破損や変形の原因となります。
- バッテリーは端子位置の異なるものと取り換えないでください。接続を誤ると接続ケーブルの損傷や車両火災の原因となります。
- バッテリーを車両に搭載した状態で注液しないでください。
- 付属の電解液以外は使用しないでください。
- このバッテリーは電解液面点検、補水はできない構造になっています。密封栓を外しての補水は短寿命となるほか液漏れの原因となりますので絶対に行わないでください。

実施

- バッテリーは重量物です。横倒し、落下などによるけがや液漏れの原因となる恐れがあります。取り扱いに注意してください。
- バッテリーを持ち運ぶ際は、バッテリーの底を持ち、水平な状態で行ってください。
- バッテリーを取り付け、取り外す際は必ずエンジンを止め、キーを抜いてから行ってください。
- バッテリーを取り付ける際はプラス端子から、取り外す際はマイナス端子から作業を行ってください。
- バッテリーは振動などで動かないように車両に確実に固定してください。
- バッテリーは搭載されているものと同等の容量（Ah）のものと取り換えてください。
- 電解液の空き容器は残液がないことを確認し、多量の水で洗浄後、処分してください。
- 車両に電解液が付着した場合は、ウエスなどで拭き取った後に、水で洗い流してください。
- 床や地面に電解液がこぼれた場合は、家庭用重曹（重炭酸ソーダ）などを、泡が出なくなるまで散布した後に、多量の水で洗い流してください。

硫酸注意

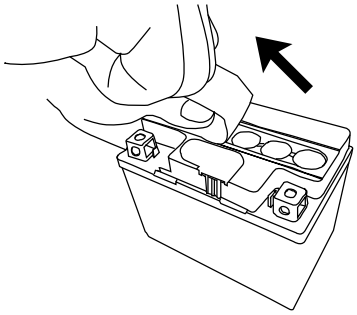
- 電解液は必ず、専門家または取り扱いに習熟した者の指導のもとに行ってください。

使用方法

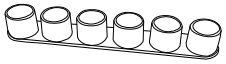
バッテリーの注液方法

※注液の際は、水素ガスが発生します。風通しの良いところで行ってください。

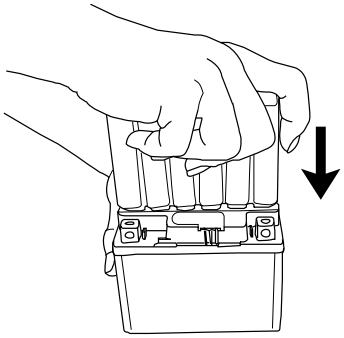
1. バッテリー上面の液口封口シールをはがします。

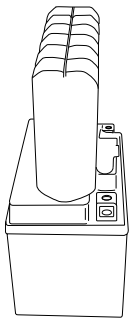


2. 電解液容器のシールははがさずに逆さまにして、電解液容器の口をバッテリーの注入口にあて、垂直に電解液容器を押し込み、バッテリーに注液します。
   ※電解液に同梱されているバッテリー密封栓は、密栓時に使用しますのでなくさないようにしてください。
   ※電解液がスムーズに注液されない場合は、容器の底を軽く 2,3 回叩いてください。



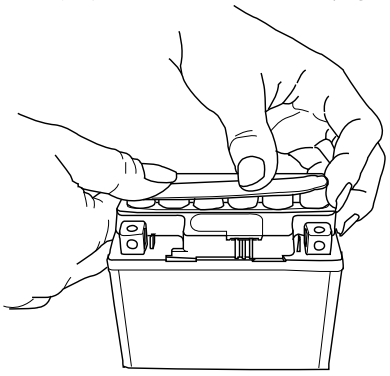
密封栓





※垂直に

3. 電解液が全て注入されたのを確認し、電解液容器をバッテリーから取り外します。
4. バッテリーの注入口に２で取り外したキャップを取り付け、確実に密封します。



※長くお使いいただくために注液後の補充電をお勧めします。

バッテリーの交換方法

1. 車両サービスマニュアルにしたがってバッテリーを車両から取り外します。
2. 新しいバッテリーを同様に装着します。
3. 車両サービスマニュアルにしたがって元通りに組み付けます。

バッテリーの補充電方法

1. 車両サービスマニュアルに従ってバッテリーを車両から取り外します。
2. 充電器の使用方法に従い補充電を行います。
   ※補充電はバッテリー本体に記載されている「充電方法」の充電電流（A)、充電時間（hr）に従って充電してください。
   ※充電中は水素ガスが発生します。風通しの良いところで行い、火気を近づけないでください。
3. 充電が完了したらバッテリー上面、または側面上部にある排気孔のゴミやほこりを取り除きます。
4. バッテリー端子の向きに注意し、車両サービスマニュアルに従って元通りに組み付けます。

バッテリーの寿命について

バッテリーの寿命を短縮する要因としては以下のものが考えられます。
- エンジンからの熱影響による放電
- 使用頻度（使用が多すぎても少なすぎても影響します）
- 発電機の故障などによる充電不足
- 寒冷地での多用、充電不足での使用などの過酷な使用
- 端子部分のゆるみによる接触不良、灯火類の消し忘れによるバッテリーあがり
- 過剰な充電

また寿命末期には次のような症状が現れます。
- スターターモータの回転音が低くて弱い
- 方向指示器の動作が遅い、暗い

これらの症状が現れた時はバッテリーを補充電してください。バッテリーは使用中に容量が徐々に低下し、寿命となります。補充電を行っても性能が回復しない場合は寿命であると判断されます。バッテリーの交換をおすすめします。

保管方法

注液後すぐに使用しない、あるいは車両を長期間使用しない場合は、バッテリーを車体から取り外し、バッテリーに記載された電流で補充電を行ってください。補充電後は風通しのよい火気のない場所、及びお子様の手の届かないところに保管してください。

廃棄方法

使用済みバッテリーはリサイクルされます。ご不要になった使用済みバッテリーを放置したり、一般のゴミと一緒に捨てたりしないでください。バッテリーをご購入された販売店に引き取りをご依頼いただくか、各地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

保証規定

保証期間

ご購入日より 1 年を保証期間といたします。

保証対象

製造上あるいは材料上の不具合により使用不可能となったもの（充電で回復する、単なる放電状態は適用外）

適用除外

保証期間内であっても下記の場合、保証は適用されません。

①保証書がない場合。または保証書欄が未記入の場合。
②補充電により回復するもの。
③天災、火災、地震、海難、動乱などによるバッテリーの破損、故障、機能低下。
④使用上の酷使、手入れ不十分、過失または事故によって生じた不具合と認められる場合。
　例：
　(ア) ケース、あるいは蓋の変形、破損したもの
　(イ) 電装品などの故障、欠陥により生じた事故
　(ウ) お買い上げ後、放電したまま放置した場合（保管も含む）
　(エ) 逆接続充電されたもの
　(オ) その他使用上の酷使、手入れ不十分、過失又は事故によって生じた故障とみられた場合
　(カ) 交通事故による破損・故障・機能低下の場合
　(キ) バッテリーを修理、改造した場合
　(ク) 過負荷となるアクセサリーを使用した場合
⑤車両自体の原因による場合
　例：レギュレータの設定電圧が基準枠を超えて過充電となった場合
⑥二輪自動車のエンジン始動及び保安機器（ライト、警報器）の点灯以外の目的で使用された場合
⑦バッテリーの搭載位置、車両懸架緩衝装置、充電装置などに改造が加えられた車両で使用された場合
⑧不具合の発生した車両のチェックができない場合
⑨不具合現品の提示がない場合

保証できない事項

次に示す費用は負担いたしません

①発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金、修理工賃、整備等の費用
②商品を検査のためお預かりする際に発生する脱着工賃等
③お車を使用できなかったことによる不便さ及び損失等。
　（電話代、レンタカー代、運送代、機会損失等）
④この保証規定に示す以外の費用、保障等

保証書

この度は当社バッテリーをご購入いただきありがとうございます。
この商品は当社の厳密な検査を経て出荷されておりますが､万が一通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する商品の故障が起きた場合、点検・調査の上「保証規定」に従い、無償交換させていただきます。

●お客様記入欄（ご購入時に記入ください）

ご購入年月日　　年　　月　　日

商品名　　商品番号

使用車種（年式）　　（　　年）フレームNo.

取り付け時走行距離　　ｋｍ

●販売店記入欄

販売年月日　　年　　月　　日

不具合発生日　　年　　月　　日

不具合発生時の走行距離　　ｋｍ

販売店名、住所、電話番号

TEL

株式会社 デイトナ 〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp　　E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

※お願い　お買い上げいただいた際に、販売店の方に「販売店記入欄」をご記入いただくか、試用期間、購入日を証明できるものを必ず添付してください。提示されていない場合は、無償交換いたしかねます。